

公益財団法人三重県国際交流財団（MIEF）

令和7年度事業報告

I 概要

「中期計画(改訂版)」(計画期間：令和4年度から概ね5年間)の基本目標である、「多様な人々と共に創る多文化を尊重できる社会」の実現に向けて、関係機関との連携を進めながら事業を展開しました。

II 実績

<公益目的事業>

1 多文化共生社会の推進に関する事業

(1) 外国人住民を対象とした日本語教育の推進

ア 地域日本語教育環境の整備

(ア) 三重県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業【三重県環境生活部受託事業】

多文化共生社会において、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り、円滑な社会生活を送ることができるよう、「三重県多文化共生推進計画」に基づき、県全体の日本語教育の実施体制整備を進めました。

a 三重県日本語教育プラットフォームの運用

日本語教室、国際交流協会、行政等の各主体間の連携を強化するための仕組みとして、情報交換や情報伝達を行う「プラットフォーム」を運用し、外国人住民へのスムーズな情報提供を実現し、危機や緊急時の迅速な対応を図りました。

	三重県日本語教育プラットフォーム	MieにほんごLINE
形式	ウェブサイト	LINE公式アカウント
運用開始	2022年11月～	
総ユーザー数/登録者数	471人(累計1,940人)	44人(累計211人)
総視聴回数/主な登録団体	2,339回(累計1.6万回)	日本語教室、行政、企業

b 三重県地域日本語教育コーディネーター情報交換会の開催

三重県における地域日本語教育の体制づくりを推進するために、育成した三重県地域日本語教育コーディネーター同士の連携を継続・強化することを目的として開催しました。地域の日本語教育に関する情報共有・意見交換を行うとともに、随時総括コーディネーターが助言等を行い、三重県地域日本語教育コーディネーターの活動を支援しました。

	日付	場所	出席者数
第1回	4月14日(月)	オンライン	7人
第2回	1月11日(日)	アスト津	6人

c 三重県日本語ボランティアセミナー

地域の日本語ボランティア活動の目的や重要性、また地域住民の繋がり場の場としての地域日本語教室の在り方について学ぶためのセミナーを開催しました。

	三重県日本語ボランティアセミナー		
日付	12月14日(日)		
実施方法	オンライン	参加者数	28人

内 容	「コミュニケーションを通じてコミュニケーションを学ぶ」 教科書を必要としない「対話」による日本語支援の有効性について学び、 言葉を習得する基本的な理論や、対話を促進する活動のヒントを得る機会と しました。
-----	---

d 三重県地域日本語教育コーディネーター育成研修

県内における地域日本語教育に関わる取組みを広げ、日本語を学びたい方が学べる環境を整備するため、新たに地域日本語教育コーディネーターを育成しました。

令和7年度新たに育成したコーディネーター数：4人

	日付	会場	参加者数	理解度
第1回	6月4日(水)	アスト津(対面)	9人	100%
内 容	1. 「三重県地域日本語教育の体制づくり推進事業」の概要 2. R7年度の取組みについて 3. 地域日本語教育コーディネーターとは			
第2回	6月11日(水)	オンライン	9人	100%
内 容	「ボランティアコーディネーション、地域・行政との協働」 1. ボランティアコーディネーションとは 2. 地域・行政との協働			
第3回	7月7日(月)	オンライン	11人	100%
内 容	「外国人材受入れの最新動向と企業との連携について」 1. 外国人材受入れの最新動向について 企業との連携について			
第4回	7月23日(水)	アスト津(対面)	9人	100%
内 容	「県内の取組みから、実践を考える」 1. 対話交流型日本語教室の立ち上げについて (尾鷲市・川越町・木曾岬町・鈴鹿市) 2. 新規日本語教室(サロン)のプログラムデザイン(次回実践①の準備) ーコーディネーター会議の実践			
第5回	8月3日(日)	尾鷲市福祉保健センター	4人	100%
内 容	実践①「新規日本語教室(日本語交流サロン)の教室コーディネート」 ・教室開設準備 ・教室の運営と引き継ぎ ※当日1名欠席であったため、10月4日鈴鹿の日本語教室「おいん」にて、同テーマにて振替研修を実施			
第6回	8月7日(木)	アスト津(対面)	4人	100%
内 容	第4回、第5回(実践①)のふりかえり ・設定した課題が適切であったか ・うまくいったこと、いかなかったこと、想定していなかったこと など 「市町や企業との連携を考える」 1. 県内における取組みについて (志摩市・鈴鹿市・伊賀市・四日市市) 2. ヒアリングについて(次回実践②の準備)			
第7回	8月下旬~9月末	三重県内企業		
内 容	実践②「企業へのヒアリング」 ※受講者1人につき、企業1社を選定し、ヒアリングを実施(計4社訪問)			
第8回	10月12日(日)	アスト津(対面)	7	100%

内 容	実践②ふりかえり ・結果の共有、報告 ・実践②を通じた自己ふりかえり 研修全体のふりかえり ・研修で学んだこと、得た経験の整理 ・研修修了後に向けて
-----	---

e 企業における日本語学習の推進

外国人従業員を雇用する企業に対して、総括コーディネーターや地域コーディネーターがヒアリングや啓発活動等を実施しました。また、企業の状況やニーズに合わせて、助言や必要な支援を行いました。

日付	訪問先	市町名
5月15日(木)	海洋ゴム(株)	紀北町
5月15日(木)	紀洋精密(株)	紀北町
7月11日(金)、2月16日(月)	(株)LIXIL	津市
7月11日(金)	社会福祉法人実践	津市
7月16日(水)	三重中西金属(株)	津市
7月29日(火)	(株)安永	伊賀市
7月29日(火)	伊賀産業(株)	伊賀市
9月3日(水)	ナカガワインテリア産業(株)	伊勢市
9月8日(月)	熊野病院	熊野市
9月10日(水)	ボルグワナー・モールシステムズ・ジャパン(株)	名張市
9月12日(金)	三田工業(株)	鈴鹿市
9月19日(金)	ベルテック(株)	鈴鹿市
11月19日(水)	(株)渡辺鉄工	四日市市
11月25日(火)	日本ハム食品(株)	木曾岬町
12月9日(火)	広伊建設(株)	亀山市
12月16日(火)、2月2日(月)	アベテック株式会社	桑名市
2月10日(火)	鈴鹿エンヂニヤリング株式会社	四日市市

f 市町の取組支援

四日市市	日本語ボランティア研修支援
尾鷲市	日本語教室立ち上げ支援
木曾岬町	日本語教室立ち上げ支援
東員町	日本語ボランティア研修支援
川越町	日本語教室運営支援
紀北町	日本語ボランティア研修支援

イ 外国につながる子どもたちへの支援

(ア) 日本語教材、日本語指導教材の研究・開発・発行【自主事業(学校教育支援基金)】

外国につながる児童・生徒が使用する初期日本語教材および指導教材『みえこさんのにほんご』シリーズの教材を増刷しました。なお、県内公立学校には無償で必要な教材を提供しました。

教材タイトル	冊数
1. 『みえこさんのにほんご 指導のアクセス』増刷	200冊
2. 『続みえこさんのにほんご 指導のアクセス』増刷	200冊
3. 『第3版 みえこさんのにほんご』増刷	1000冊
4. 紙芝居『十二支のおはなし』増刷	100冊

(イ) 多言語による読み聞かせ教室【自主事業（学校教育支援基金）】

外国につながる親と子の日本語習得および母語保持を目的に、令和6年度に育成した多言語読み聞かせサポーターが県内で主体的に活動し、この活動の普及・継続につながるよう支援しました。

(ウ) 高校進学ガイダンスガイドブック多言語版の作成

県教育委員会との協働により高校進学ガイダンスガイドブック多言語版（インドネシア語、英語、韓国語、スペイン語、タイ語、中国語、ビサヤ語、フィリピン語、ポルトガル語）を作成しました。

(エ) 外国につながる子どもたちを見守るためのハンドブック作成事業

【自主事業（自治体国際化協会助成）】

外国につながる児童生徒や保護者が抱える進路や就職等に対する不安や疑問に対応するため、教育、在留資格、キャリア教育、外国人支援等の専門家との連携により、支援者を主な対象としたハンドブックを作成しました。また、同ハンドブックの内容に沿ったセミナーを開催しました。

【目標】ハンドブック作成数 200部

【実績】ハンドブック作成数 2000部、研修理解度 100%

a ハンドブック作成

タイトル	冊数	発行日
外国につながる子どもを見守るためのハンドブック 進路保障をするために知っておきたいこと —在留資格・進学・就職—	2000部	2月28日

b ハンドブックの内容に沿ったセミナー

	日付	場所	参加者数	理解度
	2月8日(日)	アスト津	21人	100.0%
内容・講師	1. ハンドブックの内容に基づいたクイズ 講師：行政書士 小林 マイケルアンジェローさん ファシリテーター：船見 和秀さん 2. ワークショップ ファシリテーター：船見 和秀さん			



外国につながる子どもたちを見守るためのハンドブックに沿ったセミナー

(2) 外国人住民が相談しやすい環境の整備

ア 相談体制の充実

(ア) みえ外国人相談サポートセンター運営事業【三重県環境生活部受託事業】

県内在住の外国人住民等を対象に、生活に係る相談を多言語で受け付け、関係の専門機関と連携しながら、適切な情報提供と相談対応を行いました。

また、相談員による国の外国人支援コーディネーター認証取得や、専門家による通訳付きの相談会の拡充、関係団体との円滑・迅速な連携を図るための事例・対応方法等の検討や情報共有など、相談機能の充実を図りました。

【目標】相談に係る連携機関数 52機関

【実績】相談に係る連携機関数 53機関

a 相談体制

対応日時：月曜日～金曜日 9:00-16:00

対応言語：インドネシア語、英語、韓国語、スペイン語、タイ語、中国語、
日本語、ネパール語、フィリピン語、ベトナム語、ポルトガル語

外国人支援コーディネーター認証取得：2人（計3人）

	前期末累計	今期末累計
連携機関数（累計）	50機関	53機関

b 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	153	194	233	200	193	209	198	146	159	186	186	231	2,288

c 専門相談会

相談分野/日付	4/10	5/8	6/12	7/10	8/7	9/11	10/9	11/13	12/11	1/8	2/12	3/12	合計
出入国・在留資格 名古屋出入国管理局	2	0	3	2	2	1	1	1	1	1	2	0	16

相談分野/日付	4/9	4/23	5/14	5/28	6/11	6/25	7/9	7/23	8/6	8/20	9/10	9/24	
弁護士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	10/8	10/22	11/12	11/26	12/3	12/17	1/14	1/28	2/4	2/25	3/11	3/25	合計
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	48

相談分野/日付	4/24	5/22	6/26	7/24	8/28	9/25	10/23	11/27	12/25	1/21	2/26	3/26	合計
臨床心理士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

d 外国人住民からの相談対応についての情報交換会

	日付	場所	参加者数
第1回	6月27日(金)	アスト津	20人
内容・講師	「法律に関連する相談について」 南新町法律事務所弁護士 伊藤 正朗さん		
第2回	8月1日(金)	アスト津	19人
内容・講師	「在留資格に関連した相談について」 名古屋出入国在留管理局在留支援部門		



外国人住民からの相談対応についての情報交換会

(イ) 結核に関する電話通訳事業【三重県医療保健部受託事業】

県医療保健部感染症対策課が行う外国人住民に対する結核の問診等について、三者通話により、英語、スペイン語、フィリピン語、ポルトガル語による通訳協力を行うこととしていましたが、実績はありませんでした。

(3) 外国人住民が安全で安心して暮らせる環境整備

ア 外国人住民への行政・生活情報の提供

(ア) インターネットによる情報提供・情報発信【自主事業】

当財団の事業・サービスに関する最新情報および多文化共生社会の推進・国際交流の促進・国際協力の拡充に関する有益な情報を、財団ホームページ等において多言語で紹介しました。

【目標】 ホームページ、SNSへのアクセス件数 95,000件

【実績】 ホームページ、SNSへのアクセス件数 104,678件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日本語	3,336	3,140	2,809	2,488	2,418	2,602	2,546	2,593	2,510	2,400	2,608	2,864	32,314
英語	183	306	245	137	205	153	362	190	200	245	230	213	2,669
スペイン語	39	60	28	31	50	47	34	41	55	69	28	63	545
中国語	180	415	345	136	22	9	6	39	31	53	22	48	1,306
フィリピン語	4	2	35	5	7	9	27	30	18	38	19	16	210
ポルトガル語	156	178	245	157	146	149	226	200	134	203	157	136	2,087
MieCo	57	46	82	99	83	79	68	58	62	42	51	125	852
Facebook	7,207	5,766	2,817	4,743	4,251	8,827	6,156	4,083	7,303	6,447	2,151	2,605	62,356
プラットフォーム	247	234	289	227	207	110	124	178	231	163	163	166	2,339
アクセス計	11,409	10,147	6,895	8,023	7,389	11,985	9,549	7,412	10,544	9,660	5,429	6,236	104,678

(イ) 図書資料の整備、その他情報収集・提供【自主事業】

「小さなブラジル図書館」をはじめ、日本語教育、日本語学習等に関する図書・情報を収集し、みえ県民交流センターにおいて提供しました。

【目標】 ブラジル図書貸出冊数 60冊

【実績】 ブラジル図書貸出冊数 309冊

イ 医療・保健・福祉の環境整備

(ア) 医療通訳普及促進事業【三重県環境生活部受託事業】

医療従事者、医療・看護系学生を対象としたセミナーを開催することにより、医療機関における外国人患者の受入れ環境の整備に努めるとともに、医療及び通訳倫理等の専門性を備えたベトナム語通訳者の育成、医療現場への通訳者の紹介・試行的配置を行いました。

【目標】 研修理解度 100%

【実績】 研修理解度 97.2%

a 外国人患者対応セミナー

	日付	場所	参加者数	理解度
	1月25日(日)	オンライン	53人	96.9%
内容・講師	1. 「三重県内の外国人住民の現状と医療の取組み」 三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課 副課長兼班長 西出 裕一さん 2. 「外国人患者対応の課題と課題解決に向けた体制整備や取組み」 港町診療所 所長 沢田 貴志さん			

b 医療通訳育成研修

	日付	場所	参加者数	理解度
受講選抜試験	9月27日(土)、29日(月)	オンライン	14人	
第1回	10月11日(土)	アスト津	9人	97.5%

スペイン語	8	0	0	8	0	11	0	0	0	8	0	7	42
ポルトガル語	8	7	6	11	11	8	0	6	7	0	5	6	75

C 桑名市発達支援室等

通訳配置：【中国語、スペイン語、ベトナム語、ポルトガル語等】発達検査の通訳等

通訳件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ポルトガル語	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	5

(ウ) 外国につながる子どもたちの発達支援事業【自主事業（学校教育支援基金・寄付金）】

シンポジウム、通訳研修会の実施により、外国につながる子どもたちの発達障がいに関する課題に取り組みました。また、小児科医、精神科医、産婦人科医を対象とした調査により、外国につながる子どもの医療へのアクセスの課題について把握しました。

【目標】研修理解度 100%

【実績】研修理解度 97.9%

a 外国につながる子どもたちの発達支援通訳研修

発達支援、発達についての検査の際に必要な、専門知識、通訳倫理を身に付けるための研修会を開催しました。

	日付	場所	参加者数	理解度
第1回	5月17日（土）	アスト津	25人	98.0%
内容・講師	1. 「MIEF発達支援通訳パートナー制度について」 三重県国際交流財団 2. 「発達支援通訳の活動」 MIEF発達支援通訳パートナー 小林 真弓さん 田中 レオニセさん 3. 「子どもの心身の成長や発達課題、知能の捉え方について」 「検査について～田中ビネー知能検査～」 「支援者のメンタルヘルス」 一般社団法人三重県公認心理師会会長/三重県臨床心理士会理事 仲 律子 さん			
第2回	6月7日（土）	アスト津	21人	98.1%
内容・講師	1. 「医療機関の受診のながれ～子ども心身発達医療センターの場合～」 「医療機関へのアクセス」 三重県立子ども心身発達医療センター児童精神科医師 柿元 真知さん 2. 「専門用語確認」 全国医療通訳者協会 三浦 恵理さん 医師 中萩 エルザ さん MIEF 具志 カルラ 3. 「短文アウトプット」「模擬通訳」 桑名市総合医療センター医療通訳士 カルデナス カルラさん 全国医療通訳者協会 三浦 恵理さん 医師 中萩 エルザ さん MIEF 具志 カルラ			
第3回	6月21日（土）	アスト津	22人	98.0%
内容・講師	1. 「通訳倫理・ケースワーク」 2 「メモ取り、通訳訓練法」 全国医療通訳者協会代表理事 森田 直美さん			
第4回	7月19日（土）	アスト津	22人	97.7%

内容・講師	1. 「発達障がい児にかかる福祉と支援」 三重県自閉症・発達障害支援センターれんげ 発達障害者地域支援マネージャー兼相談員	本地 知加子さん
	2. 「専門用語確認」	全国医療通訳者協会 三浦 恵理さん 医師 中萩 エルザさん MIEF 具志 カルラ
	3. 「短文アウトプット」「模擬通訳」 桑名市総合医療センター医療通訳士 全国医療通訳者協会	カルデナス カルラさん 三浦 恵理さん 医師 中萩 エルザさん MIEF 具志 カルラ

b シンポジウムの開催

外国につながる子どもたちの発達障がいの実態と課題を明らかにし、今後県内において必要な取組みについて関係者、機関が共有することにより、課題解決を進めることを目的として、シンポジウムを開催しました。

	日付	場所	参加者数	理解度
	8月24日（日）	三重県人権センター	93人	97.3%
内容・講師	<p>【対談】 「外国につながる発達障がい児について～これまでのシンポジウムを振り返って、今後必要な取組み～」 豊田市福祉事業団理事長/児童精神科医師 高橋 脩 さん 三重県立子ども心身発達医療センター 児童精神科医師 柿元 真知 さん</p> <p>【パネルディスカッション】 「外国につながる発達障がい児について～私たちが思うこと～」 コーディネーター： 一般社団法人三重県公認心理師会前会長/三重県臨床心理士会理事 仲 律子 さん</p> <p>パネリスト： MIEFベトナム語医療パートナー/桑名市総合医療センター医療通訳 グエン チィ ホアン ウアン さん Projeto Amor que transfoma（愛は全てを変えられる） 代表 スガワラ ジャミリさん 三重県教育委員会小中学校教育課フィリピン語巡回相談員 バンデラ ベンザル 友松さん 三重県立子ども心身発達医療センター 児童精神科医師 柿元 真知 さん 豊田市福祉事業団理事長/児童精神科医師 高橋 脩 さん 総括：豊田市福祉事業団理事長/児童精神科医師 高橋 脩 さん</p>			

ウ 災害対策の充実

(ア) 災害時外国人住民支援事業

【三重県環境生活部受託事業・鳥羽市共催】

災害時に外国人住民と行政との橋渡し役を担うキーパーソンを育成するとともに、避難所における外国人住民への支援体制の整備、地域住民や市町及び市町国際交流協会等への啓発及びネットワークの構築に取り組みました。

【目標】 研修理解度 100%

【実績】 研修理解度 96.5%

a 企画会議

防災活動及び外国人住民と関わりのある団体（国際交流団体、日本語教室、NPO、外国人労働者を雇用する企業等）を招集し、事業内容の検討や実施後の検証を行う会議を開催しました。

	日付	場所	参加者数	理解度
第1回	7月14日（月）	鳥羽市役所	8人	—

内容・講師	<ol style="list-style-type: none"> 「鳥羽市における避難所の運営について」 鳥羽市総務課 防災危機管理室副室長 澤田 将宏さん 「災害時における外国人被災者対応について」 一般財団法人 ダイバーシティ研究所代表理事 田村太郎さん 「避難所における外国人住民受入訓練」 一般財団法人 ダイバーシティ研究所代表理事 田村太郎さん 「ふりかえり」
-------	---

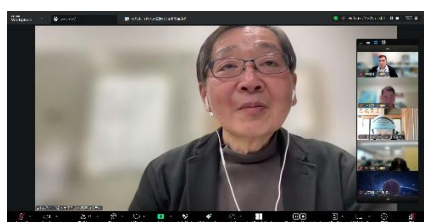


避難所における外国人住民受入訓練(三重県・鳥羽市)

d 多言語情報提供に特化した図上訓練(三重県・MIEF合同研修)

みえ災害時多言語支援センターが発信する災害情報発信プロセス・手順を確認し、課題を検証する訓練を実施しました。

	日付	場所	参加者数	理解度
	2月23日(月祝)	オンライン	17人	96.7%
内容・講師	<ol style="list-style-type: none"> 「みえ災害時多言語支援センターの役割と機能」 三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課 多文化共生班主事 山田 奈津実さん 「災害時における外国人防災リーダー、外国人コミュニティとの連携について」 一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団常務理事 八木 浩光さん 実践「災害情報の翻訳(確認)、発信にかかる実践」 			



多言語情報提供に特化した図上訓練

(イ) 外国人防災リーダーフォローアップ事業【三重県環境生活部受託事業】

災害時の外国人住民支援体制を強化するため、外国人防災リーダー等を対象として、災害時における大使館や領事館との連携等について意見交換を行いました。

【目標】 研修理解度 100%

【実績】 ー

	日付	場所	参加者数	理解度
	10月26日(日)	アスト津	74人	ー

内容・講師	<p>1. 「みえ災害時多言語支援センターの役割と機能」 三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課 副課長兼班長 西出 裕一さん</p> <p>2. 「大規模災害時の対応」 各国領事館・大使館（ブラジル、中国、インドネシア、ネパール、タイ、ベトナム）</p> <p>3. 「外国人防災リーダー活動発表」 伊賀市外国人防災リーダー 村井 フェルナンドさん 四日市市外国人防災リーダー アラウコ マリアさん</p> <p>4. 「意見交換」 *参加者74人内訳* 大使館・領事館職員15人、外国人防災リーダー・MIEF災害パートナー35人、市町・市町国際交流協会・市町社会福祉協議会12人、NPO市民団体5人、コミュニティキーパーソン7人</p>
-------	---



外国人防災リーダーフォローアップ事業

(ウ) 外国人住民を対象とした防災訓練事業【津市受託事業】

津市において、市内で生活する在住外国人を対象に、災害に関する基礎知識の習得や応急処置等に関する訓練を実施しました。

【目標】 訓練等理解度 100%

【実績】 訓練等理解度 100%

	日付	場所	参加者数	理解度
	1月31日（土）	津リージョンプラザ	21人	100%
内容・講師	<p>1. 講義「日本で生活するためのやさしい防災ガイド」 みえ防災コーディネーター 中村 保親さん</p> <p>2. 実践①「地震を体験しよう！」 三重県防災対策部地域防災推進課 「水消火器で初期消火を体験しよう！」 津市消防本部 実践②「応急処置をやってみよう！」 津市消防本部</p>			



防災講義



応急処置体験

エ 就労対策の充実

(ア) 三重県地域活性化雇用創造プロジェクト外国人材の県内就職定着支援事業

【三重県産業支援センター受託事業】

就業体験や企業見学会、WEB合同企業説明会を通して、外国人求職者が自身の適性・能力や県内の中小企業の魅力を知る機会を提供することで、県内企業への就職を促進しました。

【目標】 参加者満足度 100%

【実績】 // 93%

a 就業体験の実施

【目標】参加者 50人

【実績】参加者 67人

	日付	場所	参加者数
事前セミナー	第1期(定住者・留学生対象): 7月13日(日)、7月18日(金) 第2期(定住者・留学生対象): 10月4日(土)、7日(火)、9日(木)、14日(火)、15日(水) 第3期(定住者・留学生対象): 2月1日(日)	第1期: アスト津、四日市情報外語専門学校 第2期: 四日市市地場産業振興センター、勢京ビジネス専門学校、オンライン 第3期: シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢、オンライン	第1期: 28人 第2期: 21人 第3期: 21人 計 70人
内容・講師	第1期 ・講義「三重県で働くメリット（県内の外国人住民の現状、多文化共生のための医療・福祉・相談対応の環境、子育て支援・正規雇用のメリット）」 アクティビティ「働くために必要な基礎力とは？」「就業体験の仕事の内容を知る（動画）」 キャリアコーディネーター 筒井昭仁さん 同上 林 史子さん ・キャリアコーディネーター面談 黒田恭子さん、林史子さん、筒井昭仁さん MIEF 後藤謙次 第2期 ・第1期の内容・講師に同じ 第3期 ・第1期の内容・講師に同じ		

	日付	場所	参加者数
就業体験	第1期 7月22日(火) ~8月1日(金) 第2期 10月14日(火) ~10/24(金) 第3期 2月2日(月) ~2月13日(金) ※上記期間中の1~2日間	第1~3期とも: 各就業体験先	第1期: 27人 第2期: 20人 第3期: 20人 計 67人
就業体験協力会社	第1期: 白鳩保育園、鈴鹿シルバーケア豊壽園、ベタニヤデイサービス、通所デイサービスセンターむつみ園、戸田家、鈴鹿ストーリーホテル、三交イン四日市駅前、三交イン津駅前、港屋珈琲鈴鹿店、三重化学工業、三重金属工業、国光カーボン工業 第2期: 白鳩保育園、戸田家、鈴鹿ストーリーホテル、三交イン四日市駅前、三交イン津駅前、都ホテル四日市、港屋珈琲鈴鹿店、三重化学工業、国光カーボン工業、松本産業、前野段ボール、光機械製作所、東プレ東海 第3期 白鳩保育園、戸田家、鈴鹿ストーリーホテル、三交イン四日市駅前、三交イン津駅前、港屋珈琲鈴鹿店、国光カーボン工業 計 延べ35事業所		

	日付	場所	参加者数
事後セミナー	第1期 各就業体験最終日	第1期:各就業体験先	第1期: 27人
	第2期 同上	第2期: 同上	第2期: 20人
	第3期 同上	第3期: 同上	第3期: 20人
			計 67人
内容・講師	第1期:キャリアコーディネーター面談 黒田恭子さん、林史子さん、筒井昭仁さん MIEF 後藤謙次 第2期:第1期内容・講師に同じ 第3期:同上		



就業体験・宿泊業(ホテル)



就業体験・宿泊業(旅館)



就業体験(製造)

b 企業見学会の実施

【目標】参加者 15人

【実績】参加者 30人

	日付	場所	参加者数
企業見学会	中南勢地区 8月27日(水)	中南勢地区:松阪市、 鳥羽市	中南勢地区 4人
	北勢地区 10月29日(水)	北勢地区:四日市市、 東員町	北勢地区 6人
	北勢地区 1月28日(水)	北勢地区:四日市市、 いなべ市	北勢地区 20人
			計 30人
訪問企業	中南勢地区:三重金属工業 戸田家 企業紹介、職場見学 会社紹介、職場見学、 外国人正社員との意見交換会 北勢地区:社会福祉法人風薫会 会社紹介、職場見学、 外国人正社員との意見交換会 三重金属工業 企業紹介、職場見学、 外国人正社員との意見交換会 北勢地区 三交イン四日市駅前 会社紹介、職場見学 水貝製作所 企業紹介、職場見学、 外国人正社員との意見交換会		



中南勢地区(旅館)



北勢地区(介護)



北勢地区(製造)

c WEB合同企業説明会の実施

- 【目標】参加企業数 20社、参加者数 60人（事前登録者）
- 【実績】参加企業数 20社、参加者数 147人（事前登録者）

	日付	場所	事前登録者数
企業説明会	9月開催 9月25日(木)、26日(金) 11月開催 11月27日(木)、28日(金)	オンライン	9月開催 59人 11月開催 88人 計 147人
参加企業	9月開催 25日(木)：三重ベタニヤ、洗心福祉会、紀和マシナリー、水貝製作所、トピア 26日(金)：光機械製作所、国光カーボン工業、港屋珈琲、三交イン、戸田家 11月開催 27日(木)：風薫会、高田福祉事業協会、東プレ東海、松本産業、住友電装（鈴鹿製作所・津製作所） 28日(金)：岡興産、日本陸送、尾鷲物産、鳥羽シーサイドホテル、賢島宝生苑		



WEB合説 9月(製造)



WEB合説 11月(介護)



WEB合説 11月(ホテル)

オ 多文化共生の意識啓発

(ア) 多文化共生啓発事業【自主事業】

行政、企業、地域団体、県民などが、日本語教育、生活支援、医療、防災、就労などの三重県における多文化共生の課題について認識を深め、課題解決に向けて連携した取組みが進むよう、啓発事業を実施します。今年度は、JICA三重県デスク、ヴィアティン三重との共催により、サッカーを通じた多文化共生イベントを開催しました。

【目標】参加者理解度 100%

【実績】—

	日付	場所	参加者数	参加者理解度
	11月23日(日)	LA・PITA東員スタジアム	117人	
内容	インドネシア、シリア、タイ、日本、ブラジル、ベトナム、ペルー、ボリビアの8か国の選手による6チームが参加。予選、順位決定戦、決勝、優勝チームとヴィアティン三重の現役選手による対戦を実施。			

カ 多文化共生の推進体制の整備

(ア) 財団パートナー制度運営事業【自主事業】

通訳・翻訳、医療通訳、災害時の外国人住民支援、発達支援の4分野において、財団の取組に協力いただける多様な人材を「パートナー」として登録し、活動の推進を図りました。また、各分野登録者を対象に研修、交流会を実施することにより、活動への理解促進に努めました。

【目標】交流会参加者 20人

【実績】交流会参加者 27人

a パートナーの人数および活動状況

分野	登録者数	活動件数
通訳・翻訳パートナー	187人（うち新規 7 人）	通訳 25 件、翻訳22 件
医療パートナー	146人（うち新規 8 人）	通訳 138 件
災害パートナー	41人（うち新規 一人）	図上訓練参加 11人
発達支援パートナー	51 人（うち新規 10 人）	通訳 37 件

b パートナー交流会

	日付	場所	参加者数
	3月7日(土)	アスト津	27人
内容・講師	通訳者の活動内容発表と質疑応答、ゲーム等でパートナー同士の交流		

2 国際交流の促進に関する事業

(1) 国際交流の促進

ア 国際交流促進

(ア) 韓国高校生交流事業【自主事業（学校教育支援基金）】

韓国と日本の高校生が、相互に学校や家庭および地域での生活を経験し、交流することを通じて相互理解を深めることを目的として実施する県立津商業高等学校と韓国世宗大聖高等学校、県立昂学園高等学校と韓国養正高等学校との学校間交流を支援しました。

【目標】 ホームページにおいて支援内容を公開

【実績】 同上

	交流内容
三重県立津商業高等学校	助成申請なし
三重県立昂学園高等学校	助成申請あり：韓国養正高校訪問団受入（令和7年11月4日・火～8日・土）

3 国際協力の拡充に関する事業

(1) 友好関係国等の事業支援

ア パラオ青少年育成事業【自主事業（パラオ青少年育成基金）】

三重県とパラオ共和国との友好提携を機に、財団に寄贈された「パラオ青少年育成基金」の運用益により、パラオ共和国青少年の育成を支援しました。

【目標】 ホームページにおいて支援内容を公開

【実績】 ー（助成申請なし、翌年度に保留）

イ 在外県人会連絡活動支援事業【自主事業（在外県人会活動支援基金）】

寄贈された「在外県人会活動支援基金」の運用益により、移住者等で構成されるブラジルやアルゼンチンにおける三重県人会の活動を支援しました。

【目標】 ホームページにおいて支援内容を公開

【実績】 ー（助成申請なし、翌年度に保留）

<法人事業>

(1) 理事会・評議員会の開催

公益財団法人三重県国際交流財団定款に基づき、6月、3月に通常理事会及び定時評議員会を開催しました。

ア 理事会

	日付	主な決議事項等
第1回通常理事会	6月6日(金)	決議事項：令和6年度事業報告・決算、多文化共生環境整備資金（特定費用準備資金）への積立及び公益充実資金への移行、理事の辞任及び選任、定時評議員会招集 報告事項：令和7年度第1回職務執行状況報告、令和4年度～令和8年度 中期計画の進捗状況
第2回通常理事会	3月6日(金)	決議事項：令和7年度事業計画変更・補正予算、令和8年度事業計画・当初予算、定時評議員会招集 報告事項：令和7年度第2回職務執行状況報告

イ 評議員会

	日付	主な決議事項等
第1回定時評議員会	6月24日(火)	決議事項：令和6年度決算、理事の辞任に伴う後任理事の選任、評議員の辞任に伴う後任評議員の選任 報告事項：令和6年度事業報告、その他
第2回定時評議員会	3月27日(金)	報告事項：第2回通常理事会決議・報告事項内容

(2) 東海・北陸地域国際化協会連絡協議会

東海・北陸地区の地域国際化協会が、情報交換や研修等を通じ相互に連携・協力を図ることを目的として設立されている同連絡協議会の総会及び研修会等に参加し、協会間の連携を深めました。

	日付	開催場所	参加協会数
	9月16日(火)～17日(水)	浜松市多文化共生センター	11団体
内容	1日目： ・総会、(一財)自治体国際化協会事業紹介 ・業務研究会：テーマ別意見交換会 1-A 外国人の子ども・次世代育成支援～日本語・キャリア～ 1-B 外国人雇用企業に対する取り組み 2-A 外国人コミュニティと連携した事業 2-B 外国人生活相談～相談員の視点から～ ・情報交換会 2日目： ・災害予防対策支援研修会 講義1：浜松市緊急情報システムについて 講師：浜松市企画調整部国際課 外山 裕太さん 講義2：遠隔参集を想定した災害時多言語支援センター立ち上げ 講師：佐賀県国際交流協会企画交流課長 矢富 明德さん		

(3) 三重県国際交流協会連絡会の開催

県内の国際交流協会が相互に連携・協力を図ることにより、県全体の国際化の推進に寄与することを目的として連絡会を開催しました。

	日付	開催場所	参加協会数
	12月16日(火)	アスト津	9団体

内容	意見交換・情報交換 1 地域や企業への多文化共生啓発 2 日本語教室の運営課題 3 外国人住民とのコミュニケーション 4 各協会が抱える課題 5 各協会の強みと協会間の連携可能性・情報共有
----	---

(4) 他団体からの委託事業の確保

財団がこれまで培ってきたノウハウを基に、県や市町、企業等の他団体に対し積極的な事業提案を行い、委託事業等につなげることで経営の安定化に努めました。

(5) 賛助会員の募集

財団の趣旨に賛同し、支援していただける賛助会員を募集しました。

入会数/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
パートナー	1	1	0	0	25	1	1	1	12	1	0	6	49
個人	0	1	0	0	27	10	1	1	8	2	0	1	51
団体	0	1	0	0	27	5	0	0	0	2	0	0	35

(6) インターンの受入れ

多文化共生への理解を深めていただくこと等を目的として、インターンおよび職場体験学習を受け入れました。

期間	学校名	受入人数
10月29日(水)	JICAグローバルプログラム	2人

(7) 関係機関への講師および委員等の派遣

関係機関等からの要請に基づき、職員を講師または委員等として派遣しました。

ア 講師派遣

日付	イベント・セミナー名	主催
10月8日(水)	東海北陸ブロック福祉人材センター 東海北陸ブロック別マッチング機能強化研修会	社会福祉法人三重県社会福祉協議会
11月14日(金)	かめのり多文化共生塾2025	公益財団法人かめのり財団
12月24日(水)	外国人生徒支援のための情報交換会	三重県教育委員会

イ 委員派遣

会議・役職名	所管(主催)団体	当財団からの派遣者
(公財)三重県生活衛生営業指導センター・評議員	(公財)三重県生活衛生営業指導センター	常務理事兼事務局長
津市国際交流推進基金運営委員会・委員	津市	常務理事兼事務局長
三重県人権啓発懇話会・幹事	三重県 (雇用経済部雇用対策課)	常務理事兼事務局長
松阪市人権施策審議会	松阪市	企画総務課長
東海地区外国人観光客誘致促進協議会 三重県部会・顧問	三重県(観光部海外誘客課)	企画総務課長
発達障害情報分析会議「外国につながる発達障害児者支援に関する情報提供検討作業部会」部会員	国立障害者リハビリテーションセンター	国際教育課長

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告の内容を補足する重要な事項は特にありません。